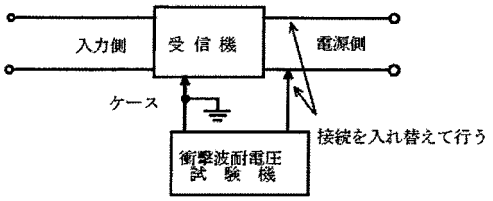
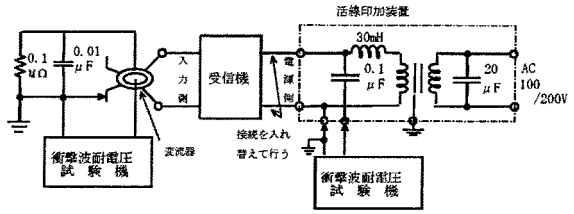
ロ　電源端子とケースとの間



備考　樹脂ケースの場合は、金属板上に受信機を置き、金属板と電源端子との間で行う。

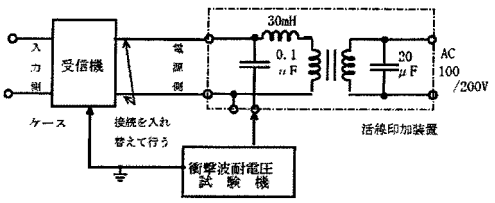
二　通電状態の場合

イ　電源異極端子の間



備考　変流器と警戒電路の位置は、変流器の設置方法とする。

ロ　電源端子とケースとの間



備考　樹脂ケースの場合は、金属板上に受信機を置き、金属板と電源端子との間で行う。

○総務省令第二十五号

消防法（昭和二十三年法律第百八十六号）第二十一条の二第二項及び消防法施行令（昭和三十六年政令第三十七号）第五条の六の規定に基づき、住宅用防災警報器及び住宅用防災報知設備に係る技術上の規格を定める省令等の一部を改正する省令を次のように定める。

平成二十五年三月二十七日　　総務大臣　新藤　義孝

住宅用防災警報器及び住宅用防災報知設備に係る技術上の規格を定める省令等の一部を改正する省令

（住宅用防災警報器及び住宅用防災報知設備に係る技術上の規格を定める省令の一部改正）

第一条　住宅用防災警報器及び住宅用防災報知設備に係る技術上の規格を定める省令（平成十七年総務省令第十一号）の一部を次のように改正する。

第一条を次のように改める。

（趣旨）

第一条　この省令は、消防法（昭和二十三年法律第百八十六号）第二十一条の二第二項及び消防法施行令（昭和三十六年政令第三十七号）第五条の六の規定に基づき、住宅用防災警報器に係る技術上の規格を定め、並びに同条の規定に基づき、住宅用防災報知設備に係る技術上の規格を定めるものとする。

第二条第一号中「（昭和二十三年法律第百八十六号）」を削り、同号及び同条第二号中「（煙を感知するものに限る。）」を削る。